

## 24時間マラソンソフト実行委員会 ソフトボールでまちおこし

年齢性別を問わず幅広く参加者を募り、世代や地域を越えた交流促進を目的として開催するソフトボール大会。実行委員会の目標は、かつての大平村で隆盛を極めた「24時間ソフトボール大会」を復活させることです。来年度開催予定にしている「24時間マラソンソフト」の試行という位置づけで、12月11日(日)に「12時間マラソンソフト」を大池公園総合グラウンドで開催しました。

当日、懸念材料だった連日の陰鬱な雨空も回復に向かい、朝9時、呼びかけに応じてくださった14チームによるマラソンソフトの幕が開けました。あいにく厳しい冷え込みに見舞われ、特に日没後は選手もスタッフも辛そうでしたが、連続7試合、合間にホームラン競争を楽しみながら、各チームがしっかりと襷を繋いでいきました。

24時間マラソンソフトは、かなりの耐久戦となることが予想されます。この日の経験を活かして頑張りますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

問い合わせ先 24時間マラソンソフト実行委員会 ☎ 7090-4771-3534(事務局 後藤)



## オーイげんき会 中学生に蕎麦打ち指導

9月22日(木)に開催された築上東中学校文化講座に、蕎麦打ち指導で参加しました。3年生の男女20名に、蕎麦粉から麺ができるまで指導しました。子どもたちは、真面目に作業を行い、出来上がった蕎麦をパックに詰め、満足気を持って帰りました。



## 屋外レクリエーション、紅葉狩り

11月24日(木)、ボランティアグループの車で、サロンメンバーの方々と屋外レクリエーションとして耶馬溪まで紅葉狩りに出かけました。昼食は青の洞門のバイキング店で、紅葉して趣のある景観と満腹感に、皆さん満足な一日を過ごしました。



## 安雲西交流会 子ども会交流会

12月17日(土)、安雲西公民館で、子ども会の交流会(クリスマス会)を開催しました。

今年度は、他地区からの転入者3名を迎え、12名となった小学生とその保護者を交えて、年間の活動をはじめ、学校や地域の取り組みなどを通じた交流と意見交換を行いました。



## 研修会

2月11日(祝)から12日(日)にかけて、壮年会の研修会(意見交換会)と総会を兼ねて、別府市と由布市に行きました。地域の課題や互いの職場の状況など話題が多く、有意義な研修ができました。



## 壮年会の美化活動

12月11日(日)、壮年会で地域の美化活動を行いました。清掃後は、分別作業と次回の行事について意見交換をし、2月の研修会が決定しました。



## どんど焼きの準備会

2月11日(祝)に、子ども会のメンバーが、地域の正月飾りを集め、どんど焼きの準備を行いました。金具を取り除く作業が大変でしたが、飾りを作る人の苦勞もよく分かりました。



## 屋外レクリエーション、 秋桜の花見

10月25日(火)に三光のコスモス園に出かけました。肌寒い日でしたが好天に恵まれ、足腰の弱った方には車椅子も出動し、辺り一面見事なコスモスに感動しきりでした。帰ってからの公民館での昼食のひときは、一層盛り上がり楽しい一日となりました。



## 子ども会との交流会

12月26日(月)に安雲東公民館で、子ども会との交流会をしました。午前は低学年と高学年に分かれ、低学年はサロングループの会員とゲームを楽しみ、高学年は蕎麦打ち体験をしました。昼食には、打った蕎麦とサロングループが作ったおむすびを食べました。午後からは、全員でビンゴゲームなどを行い、楽しく交流ができました。



## お囃子嫩 和太鼓に魂を

私たちお囃子嫩は、土佐井貴船神社松尾順一宮司により、一般コミュニティ助成事業で整備していただいた和太鼓に魂を吹き込むべく「祭典 入魂式」を厳かに執り行いました。来賓としてお招きした土佐井貴船神社総代吉本力氏、土佐井自治会長藤本国昭氏、祭りばやし保存会長藤野暁氏、上毛町議会議員宮崎昌宗氏が見守る中、松尾宮司の祝詞奏上・初打による入魂がなされた後、お囃子嫩が伝統のお囃子を奉納しました。整備していただいた和太鼓で上毛町伝統のお囃子を末永く継承し、またお囃子を再創造・創作していく所存です。

